

チーム第三中だより

令和6年 6月号

校長 堤 周作



「叱ってもらえない残酷!？」

三中では普段から、学年や学級で生徒たちの“いいところ探し”などにたくさん取り組んでいます。生徒が、自身では気づいていない良さや、他人から感謝されていることを知り、自分に自信を持って貰いたい、素敵な三中生(仲間、集団)に成長してほしい、との思いからです。

5/30,31の1年宿泊学習を皮切りに、6/5~7の3年修学旅行、6/14の2年校外学習を実施します。100人近い集団での行動、日常とは違う生活の中で、自分のわがままを抑えルールを守り、一方、互いを思いやり、仲間の優しい面や意外な面、まだ知らない自分の良い面を見つけてほしい、と願います。

ところで、昭和時代の家庭や学校は厳しく、自分もきつく叱られることがよくありました。45人学級で土曜にも授業があり、部活動は根性論が幅を利かせ、水をなかなか飲まして貰えないなど非科学的で荒かったです。その後、様々な教育課題が山積しその反省の下、子育ては家庭も学校も、子どもの自己肯定感を高める「ほめて育てる」指導が主流となりました。

しかし最近、野球のイチローさんは、「今の時代、指導する側が厳しくできなくなって何年くらいかな。高校生に自分に厳しくして自分たちでうまくなれて、酷なことなんだけど、でも今そうなっちゃっている」と自主性や褒めることを重んじる教育の流れの中で、厳しく指導することのさじ加減の難しさを語り、「自分たちを尊重してくれるのはありがたいんだけど、これは高校野球というよりも、もうちょっと大きな話になっちゃう。ある時代までは、遊んでいても勝手に監督・コーチが厳しいから、全然できない奴があるところまでは上がってこられた。やんなきゃしょうがなくなるから。でも今は全然できない子は上げてもらえない。それ自分でやらなきゃ。なかなかこれは大変」と、様変わりした現代では、選手がより自身を律することが求められる過酷さを指摘しています(発言要約)。

心理学者の榎本博明さんは、「ほめるだけでは自己肯定感は育たない」と語り、今の時代の子育ては自分の思い通りにならないとすぐ心が折れる、注意されると「自分が否定された」と反応するような子どもを増やしている。「自己肯定感は、厳しい状況を自分の力で乗り越えた時に高まるもの。特に頑張っていないのにほめられても高まらないし、自己評価を他者に依存させてしまうことにつながる」とも話しています。子どもをできるだけ叱らず、ほめて育てたいという考えの裏には、「子どもに嫌われたくない」という大人自身の自己愛も潜んでいるのかも知れません。厳しいだけではいけないし、かといって、ダメな事を指摘せず、ただひたすらほめ言葉を浴びさせるだけでもいけないでしょう。(3/30朝日新聞参考)

要は、社会に出て少々壁にぶつかっても、乗り越えられる力を蓄えるために、厳しさとやさしさはどちらも必要であり、バランスが重要であると思います。これから始まる校外での学習は、その両方を経験できる貴重な機会です。保護者の皆様、お子様のサポートや学年への応援をよろしくお願い致します!

6月の行事予定

部活終了時間：17:15 最終下校時間：17:30

日	曜	給食	終業	部活	行事予定
1	土				
2	日				
3	月	○	14:35	×	会議日
4	火	○	15:20	120	6限3年出発式 班長会議
5	水	120	15:35	120	3年修学旅行（広島方面） 給食申込開始
6	木	120	15:35	120	3年修学旅行 SC
7	金	120	15:35	120	3年修学旅行
8	土				
9	日				
10	月	○	14:35	×	SC 会議日
11	火	○	15:20	×	専門委員会
12	水	○	15:20	○	
13	木	○	15:20	130	耳鼻科検診 SC
14	金	130	15:35	130	2年校外学習（京都方面）
15	土				給食申込〆切
16	日				
17	月	○	14:35	×	会議日
18	火	○	15:35	○	
19	水	○	15:35	×	テスト一週間前
20	木	○	15:35	×	質問教室
21	金	○	15:35	×	質問教室
22	土				
23	日				
24	月	○	14:35	×	会議日
25	火	○	15:35	×	
26	水	×	11:50	×	期末テスト
27	木	×	11:50	×	期末テスト 午後：富田市生徒指導シンポジウム（PTA共催） SC
28	金	×	11:50	×	期末テスト
29	土				
30	日				



<7月> 11~17日 期末懇談会 19日 終業式

【雑感（バッファローズ球場にて）】

11日(土)朝から野球部の応援に行きました。7-6の逆転勝ち、ヒットやミスで一喜一憂でしたが、暑期中、チームが一丸となった試合でした。そして教員は午後に審判。翌日曜の相手は合同チーム。三中は健闘したものの負けました。次週18日(土)に3位決定戦。中間テストを挟んで、25日(土)に練習試合。他部もほぼ同様。その間に、修学旅行や校外学習等の準備があり、勿論日々の授業もあります。朝は早く夜も遅く。

昔、自分も同様でしたが、校長という立場になり改めて、生徒や教員の休みのなさに心身の健康を心配します。週休0日が続く教育現場。一方、子どもの成長を保護者さんと一緒に喜べるというやりがいもあります。生徒たちには精一杯の努力を、保護者様には教員の思いとの共有と、温かい声援をお願い致します。